



第55号（平成26年3月発行）
東海ノア協定事務局
（原子力機構・原子力科学研究所内）
TEL：029-282-5801
E-mail：t-noah@jaea.go.jp
URL：<http://tnoah.jaea.go.jp/>

東海ノア通信第55号をお届けします。

東海ノア協定では、加盟事業所の皆様方との相互協力をもとに、積極的に協力活動を進めていきたいと考えています。東海ノア通信では、こうした日頃の協力活動をよりわかりやすく皆さまに紹介しています。

なお、東海ノア協定に基づく活動状況は、ホームページでも紹介しています。

アドレスは、<http://tnoah.jaea.go.jp/> です。

〔トピックス〕

☆活動状況

- 安全協力委員会の開催状況
- 活動推進幹事会の開催状況
- 安全教育に係る協力活動
- 情報等の交換に係る協力活動
- 緊急事態を想定した協力活動訓練

東海 NOAH：

「東海」東海村、「N」那珂市、「O」大洗町、「A」旭村（現銚田市）、「H」ひたちなか市

☆活動状況

安全協力委員会の開催状況

○第30回安全協力委員会

〔開催日〕 平成26年3月28日（金）

〔開催場所〕 原子力機構 東海研究開発センター 原子力科学研究所

〔議題〕

- （１）第29回安全協力委員会議事録について
- （２）平成25年度活動状況報告について
- （３）平成26年度年間活動基本計画（案）について
- （４）協定加盟事業所の近況について

第30回安全協力委員会では、議題（３）により平成26年度年間活動基本計画（案）についての審議がなされ、原案通りで承認されたことから、原子力事業所安全協力協定に基づく平成26年度の協力活動は、本基本計画に沿って進めていくこととなりました。



第30回 安全協力委員会の様子

活動推進幹事会の開催状況

○第66回活動推進幹事会

〔開催日〕 平成26年3月11日（火）

〔開催場所〕 原子力機構 東海研究開発センター 原子力科学研究所

〔議 題〕

- (1) 第65回活動推進幹事会議事録について
- (2) 前回幹事会以降の活動状況について
 - ①. 平成25年度 安全教育に係る協力活動について
 - ②. 平成25年度 情報等の交換に係る協力活動について
 - ③. 平成25年度 緊急事態を想定した対応訓練について
- (3) 平成25年度活動状況報告(案)について
- (4) 平成26年度年間活動基本計画(案)について
- (5) 東海ノア通信第55号の発行について
- (6) その他

第66回活動推進幹事会では、議題(3)及び(4)により平成25年度活動状況報告(案)及び平成26年度年間活動基本計画(案)についての審議がなされ承認されたことから、平成26年3月に開催予定の第30回安全協力委員会において、平成25年度活動状況を報告するとともに平成26年度年間活動基本計画(案)について審議いただくこととなりました。



第66回 活動推進幹事会の様子

安全教育に係る協力活動

○安全教育研修会の開催

平成26年2月14日(金)、東海ノア協定に基づく平成25年度第2回安全教育研修が、日本原子力発電(株)東海総合研修センターを会場に、協定加盟3事業所から4名の参加で開催されました。

研修は、午後の3時間半程度の短時間での開催で、研修前段では東海第二発電所の近況報告を行い、またシミュレーターによる運転体験実習ではメルトダウ

ンのデモンストレーションを、また研修後には通常では見学することが出来ない東海第二発電所フルスコープシミュレータを見学するなどの内容に、参加者には大変好評をいただく研修会になりました。

〔研修会概要〕

【講 話】 東海第二発電所の近況について

【実 習】 ①シミュレーターによる運転体験

②身の周りの放射線測定体験

【見 学】 東海第二発電所フルスコープシミュレーター

〔研修風景〕



○防火・防災管理講演会の開催

東海ノア協定に基づく「安全教育に係る協力活動」の一環として、平成26年1月20日（月）、原子力機構東海研究開発センター原子力科学研究所における防火・防災管理の意識高揚と災害防止の徹底を図るため、ひたちなか・東海広域事務組合消防本部を講師に招き、防火・防災管理講演会が開催されましたので、他の加盟事業所へ案内を行い、受講者を募って実施しました。

〔開催日〕 平成26年1月20日（月）

〔開催場所〕 日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター

原子力科学研究所 先端基礎研究交流棟 大会議室

本講演会は、ひたちなか・東海広域事務組合消防本部 予防課 根本清美氏を講師に、「火気管理の徹底について」と題して開催され、179名の方々が聴講され、東海ノア協定加盟事業所からも7事業所から15名の方が参加されました。

講演会では、潤滑スプレーをシュレッダーに噴霧したことによる被服へ延焼や消防学校における室内延焼の実験映像が映し出され、またタコ足配線やトラッキングによる電気発火実演、さらには難燃性繊維の燃焼実演が実施され、視覚的にも有意義な講演内容でありました。そして、講演の最後に、「火気管理において一番重要なのは、火災が発生した場合にどういう結果になるのかということを常に考えることで、危険なものを考えて火災要因を取り除くことが大切である。」と締めくくられました。

情報等の交換に係る協力活動

○事故、トラブル情報等の交換

原子力事業所安全協力協定に基づき、協定加盟事業所より以下の1件の情報提供がありました。（対象期間：平成25年12月～平成26年2月）

ご提供いただきました情報につきましては、直ちに、協定加盟全事業所に配信いたしました。

＜プレス発表された事故、トラブル関連情報＞

事業所	事象発生日	件名
原子燃料工業株式会社 東海事業所	平成26年 2月14日	原子燃料工業株式会社 東海事業所加工工場における火災発生について

○協定加盟事業所総合訓練等の見学会

1) 協定加盟事業所総合訓練見学会

〔開催日〕 平成26年1月29日（水）

〔場 所〕 原子力機構 大洗研究開発センター

〔見学会参加者〕

協定加盟2事業所から2名が参加

〔訓練名〕 平成25年度 第2回総合訓練



現地対策本部における活動の様子

平成26年1月29日(水)、日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターにおいて、平成25年度第2回総合訓練が行われ、協定加盟事業所からは2名(2事業所)の方が見学に参加されました。

この訓練は、「茨城県沖を震源(M7:大洗震度6弱)とする地震が発生し、センター内商用系電源が喪失。ホットラボ・セル内の燃料ピンが破損して、希ガスが排気筒より放出。」との事故想定により開催されました。

訓練は、13時30分、緊急地震速報を合図に開始され、協定加盟事業所より参加した見学者は、現地対策本部要員の参集状況、現場指揮所の状況、ミニホイールローダによる倒木撤去作業、可搬型非常用発電機の運搬・接続、模擬プレス状況など、会場を順次移動しながら訓練状況を見学しました。

また、訓練見学後には、見学の案内対応をいただいた安全管理部職員と見学参加者による意見交換も行われました。なお、今回の訓練では規制側及び訓練モニタによる訓練確認が実施されている中、少人数の東海ノア見学に対応して頂きました。



ミニホイールローダによる倒木撤去作業



可搬型非常用発電機運搬接続作業

1) 原子力事業所見学会(作業環境視察)の開催

「緊急被ばく医療関連情報連絡会」が平成25年度活動の一環として開催する原子力事業所見学会(作業環境視察)について、茨城県保健福祉部より東海ノア協定事務局へ開催のご案内をいただいたことから、東海ノア協定に基づく「情報等の交換に係る協力活動」の一環として、加盟事業所の参加者を募り連絡会に同行する形で原子力事業所見学会を以下の通り開催した。

〔開催日時〕 平成26年2月5日(水) 13時30分～15時30分

〔見学施設〕 茨城県原子力オフサイトセンター

〔参加者〕 42名(東海ノア協定事業所からは1名/1事業所)

2) 原子力事業所見学会(医療処置訓練視察)の開催

核物質管理センター東海保障措置センターと国立病院機構茨城東病院を会場に、「緊急被ばく医療関連情報連絡会」の活動として開催する緊急被ばく医療処置訓練について、東海ノア協定に基づく「情報等の交換に係る協力活動」の一環として加盟事業所の参加者を募り、連絡会に同行する形で訓練見学会

を開催しました。

〔開催日〕 平成26年3月6日（木）

〔場 所〕 核物質管理センター、茨城東病院

〔見学会参加者〕

◇事業所訓練 40名（東海ノア協定事業所からは 4名／4事業所）

◇病院訓練 33名（ 同 4名／4事業所）

緊急事態を想定した協力活動訓練

○東海ノア総合訓練の実施

平成25年度原子力事業所安全協力協定年間活動基本計画に基づき、総合訓練を実施しました。なお、平成25年度上期に計画した東海ノア通報訓練については、茨城県の通報訓練が、下期末日で実施されていないこと、また9月1日に改正された「原子力事業所安全協力協定」に伴い緊急事態対応体制が再整備されて、活動本部要員の見直しが行われたことから、東海ノア総合訓練に併せて実施することで計画して実施しました。

〔訓練実施日〕 平成26年1月15日（水）

〔訓練参加者〕 東海地区本部 25名

出動可能活動本部要員 39名

〔訓練概要〕

想定発災事業所・事故現場を東京大学原子力専攻本館2階測定室の火災としましたが、諸般の事情から東京大学での対応が困難とのことから、模擬部門を設けて訓練を開始し、原科研の緊急時対策所に東海地区活動本部を設置、通報連絡を主体とした訓練を行いました。活動本部員の本部招集は、派遣要員の本部への通知までを行うこととして、実際の出動はありませんでした。なお、当日連絡訓練が実施できなかった東京大学との訓練については、後日実施しました。

今回に訓練は、通報連絡網の確認を主体としたので、全体を通して大きな混乱なども無く、評価できる結果を得ることができました。今回の訓練を通じて、活動要領や活動マニュアルの見直し、通信機器等運用方法の見直しなどの検討課題も明らかになったことから、次回訓練に向けて今後ブラッシュアップを図ることとします。

以上

〔編集後記〕

春真っ盛りの時期となりました。水戸の偕楽園では、「水戸の梅まつり」が2月20日から3月31日まで開催されており、開花状況（3月18日現在）は約90%とのこと。一方、東海村の阿漕ヶ浦運動公園では「東海さくらまつり」が4月1日から20日まで開催される予定です。原子力業界全体は大変厳しい状況ですが、精一杯穏やかな春を楽しみましょう。

今号では、諸般の事情により、加盟事業所からの事業所紹介をお休みさせていただきます。次号をお楽しみに、期待して下さい。

東海ノア通信の目的である「情報の交換・共有化」を行いながら、皆様の参考となるよう更に充実図っていきたいと考えています。事務局へのご要望等がございましたら、忌憚のないご意見をお寄せください。

東海さくらまつり



（東海村観光協会 HP より転載）

東海ノア通信

東海ノア
（東海 NOAH）

